

文系出身者や営業・購買担当など設計製図を専門で学んだことがない方に最適！！

はじめて学ぶ初心者のための「基礎からわかる図面の読み方」

～商談・打合せでの議論に取り残されないために必要なこと～

日時 2021年2月24日(水) 10:00～17:00 (9:30 受付開始、休憩 11:45～12:45)

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム 東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込)

日刊工業新聞社セミナー会場案内図



【アクセス】東京メトロ 日比谷線 人形町駅(A2)出口より徒歩3分
 東京メトロ 半蔵門線 水天宮前駅(8番)出口より徒歩4分
 都営浅草線 人形町駅(A6)出口より徒歩3分
 ※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でこ来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認くださいませ。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
 申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。
 振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ 日刊工業新聞社 総合事業局 セミナー事業部
 TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

受講申込書	2/24 図面の読み方		お申し込みは <input type="text" value="日刊工業 セミナー"/>	<input type="button" value="Q"/>
			https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search	
会社名	フリガナ		業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL	
			FAX	
所在地	〒		E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考				

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
 なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

ものづくりは、何をつくるかを「考え」、考えたとおりに「つくり」、そして「売る」の3ステップです。この「考えたことを伝えるツール」が図面です。どのような形なのか、その大きさや、狙いの寸法に対して許されるずれを表す公差、表面の滑らかさなどの情報を図面で伝えます。この図面どおりにつくるのが現場ですが、図面を読むのは加工者だけではありません。資材購買は図面を見て社内加工するのか、外注するのかを判断します。生産管理は、図面から生産計画を立案します。品質管理では図面が合否の判定基準です。また営業担当者は図面を見ながらお客様と仕様を打ち合わせます。このように図面を読む作業は多岐にわたります。しかし、文系出身の方が多くおられる間接部門の担当者が、系統だって図面の知識を習得する機会は少ないのが現状です。

そこで、本セミナーははじめて図面の知識を学ぶ方や、これまで得た知識を整理したい方を対象に立体モデルを手にしなが、演習も踏まえて基礎からお伝えします。予備知識の無い方も安心してご参加ください。

なおものづくりに必要な三大基礎知識（読図・材料・加工）を習得するために、2月25日開催の『はじめて学ぶ初心者のための「基礎からわかる加工材料」』と2月26日開催の『はじめて学ぶ初心者のための「基礎からわかる機械加工」』も併せて受講することをお奨めします。（セット受講の方にはお得な料金設定となっております）

受講対象者

- ・新卒者
- ・資材購買、生産管理、品質管理、営業の担当者
- ・図面の基礎を学び直したい方

得られるスキル

- 1) 「立体の形をイメージする」手順をつかむ。
- 2) 「図面にあらわされた情報の読み方」を習得する。

講師

ジン・コンサルティング代表 生産技術コンサルタント **西村 仁氏**

【略歴】 1985年に立命館大学工学部機械工学科卒業後、村田製作所に入社。生産技術部門で21年間、電子部品の組立装置や測定装置等の新規設備開発を担当し、村田製作所グループ全社への導入多数。製品特許、および機構特許を多数保有。生産工程設計、工程改善、社内技能講師にも従事。2006年に立命館大学大学院経営学研究科修士課程修了。2007年に独立し、製造業およびサービス業での生産性向上支援、および技術セミナー講師として教育支援を行う。経済産業省プロジェクトメンバー、中小企業庁委員等歴任。
著書「図面の読み方がやさしくわかる本」（日本図書館協会選定図書）、「図面の描き方がやさしくわかる本」、「加工材料の知識がやさしくわかる本」「機械加工の知識がやさしくわかる本」（以上、日本能率協会マネジメントセンター）、「基礎からよくわかる品質管理と品質改善のしくみ」（日本実業出版社）、その他多数。

プログラム

1. なぜ図面は必要なのか

- 1.1 工業製品と工芸品の違い
- 1.2 図面が果たす役割
- 1.3 図面ルールは国家規格

2. 立体をどのようにあらわすのか

- 2.1 なぜ図面に立体図を使わないのか
- 2.2 正面から見る視点
- 2.3 第三角法を演習で理解する（個人演習）

3. 形をイメージする

- 3.1 木彫りの考え方を使う
- 3.2 演習で理解を深める（個人演習）

4. 図面用紙の構成と寸法表示の読み方

- 4.1 図面サイズと尺度
- 4.2 寸法記入法の違いを理解する
- 4.3 便利な寸法補助記号

5. 公差の読み方

- 5.1 数値であらわす「寸法公差」と「普通公差」
- 5.2 記号であらわす「はめあい公差」
- 5.3 形が対象の「幾何公差」

6. 表面粗さの読み方

- 6.1 表面のなめらかさをあらわす
- 6.2 いまも旧記号が使われている表面粗さ

7. まとめと質疑応答

*セミナー当日は鉛筆、消しゴム、ものさしをご持参ください。

※使用テキスト

本セミナーでは「図面の読み方がやさしくわかる本」（日本能率協会マネジメントセンター）をテキストとして使用します。受講者へは開講当日、進呈いたします。